

---

---

令和3年度  
事業計画書  
【総括版】

---

---

社会福祉法人 東北福祉会

## 1. 本部（法人全体）の取り組み

<b>目 標</b>	<p>1. 法人経営体制の見直しと経営基盤の再構築に向けた「中長期計画」の策定。</p> <p>2. 福祉人財の確保並びに育成と定着に向けた取り組みの実践。</p> <p>3. 地域における公益的な取り組みの推進と持続可能な開発目標（SDGs）を意識し事業実践。</p>
<b>重点項目と主な内容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. 法人経営体制の見直しと経営基盤の再構築に向けた「中長期計画」の策定。</p> <p>①法人将来像の明確化と課題を整理する。</p> <p>②事業運営の透明性の向上と財務規律の強化を図る。</p> <p>③組織経営のガバナンスの確立と強化を図る。</p> <p>2. 福祉人財の確保並びに育成と定着に向けた取り組みの実践。（別紙「各委員会事業計画参照」） 法人内に設置している3つの検討委員会事業を着実に実践する。</p> <p>（1）人財獲得検討委員会</p> <p>①安定した人財確保に向けた採用計画の策定と効果的な取り組み</p> <p>②安定した人財確保に向けた取り組みの強化</p> <p>（2）人財育成・定着検討委員会</p> <p>①新任職員オンライン研修</p> <p>②基本介護技術オンライン講習会</p> <p>③職位階層別オンライン研修（リーダー対象）</p> <p>④新任職員フォローアップオンライン研修</p> <p>⑤公開講座</p> <p>（3）人財評価検討委員会</p> <p>①キャリアパスの見直し</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>3. 地域における公益的な取り組みの推進と持続可能な開発目標（SDGs）を意識し事業実践。</p> <p>①人財育成・定着検討委員会による「公開講座」の開催と各拠点による地域公益活動に関する取り組みの推進。（再掲）</p> <p>②災害及び感染症に備えた法人組織の体制整備を図るとともに、宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参画による相互支援体制の構築を目指す。</p>
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>	
別紙「令和3年度当初予算案における法人本部設備整備工事等」参照	
<b>主な事業内容等</b>	
<p>1. 法人組織強化のための会議等</p> <p>（1）理事会の開催／年3回開催予定 （2）評議員会の開催／年2回開催予定</p> <p>（3）監事監査の実施／年2回実施予定（4）会計監査人による監査／期中監査・期末監査</p> <p>（5）内部監査委員による監査の実施／年1回実施予定</p> <p>（6）法人監事と会計監査人の情報交換会の開催／年1回開催予定</p> <p>（7）法人監事と理事長の情報交換会／年1回開催予定</p> <p>2. 重点項目の実践に向けた体制・会議</p> <p>（1）総合施設長・センター長会議（仮）の開催（原則として週1回の開催）</p> <p>（2）経営会議の開催（原則として月1回の開催）</p> <p>（2）総務部門会議の開催（必要に応じて開催）</p> <p>（3）事業部門会議の開催（必要に応じて開催）</p> <p>（4）人財獲得検討委員会の開催（原則として月1回の開催）</p> <p>（5）人財育成・定着検討委員会の開催（原則として月1回の開催）</p> <p>（6）人財評価検討委員会の開催（原則として月1回の開催）</p> <p>（7）その他各担当者等会議の開催（必要時招集し開催）</p>	

## 人財獲得検討委員会 事業計画①

1. 実施項目名	安定した人財確保に向けた取組みの強化	
2. 実施するうえでの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人サイトの現状把握と内容の見直しを行い、閲覧回覧数の増加に取り組む。</li> <li>・各種ガイダンス・就職説明会への参加を行い。東北福社会の知名度のアップ、採用試験希望者の増加に取り組む。</li> <li>・説明会参加時に、「現場の声・実践の魅力」等を生の声で伝えるために、就職希望者の同年代の対応スタッフの育成に取り組む。</li> <li>・各年代層に合わせて、WEBでの周知だけでなく、紙媒体による周知や職員募集を並行して行い、就職希望者の増加に取り組む。</li> </ul>	
3. 実施する内容 ・ 取組み予定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人サイトの現状把握を行い、回覧数の増加に取り組む。求人サイト作成会社と状況確認、分析を行い、リニューアルの是非を確認し回覧数の増加に取り組む。</li> <li>・各種ガイダンスの参加を行い。東北福社会の知名度のアップ、採用試験希望者の増加に取り組む。募集先の参加申込を適時行い参加につなげていく。</li> <li>・WEB、紙媒体による募集を並行して行い、就職希望者の増加に取り組む。</li> <li>・各種ガイダンス自体の開催が難しい状況も考えられるため、Webによる個別説明会を通年実施する。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況により、学校訪問が難しい可能性があるため、採用実績がある学校に対して募集要項の郵送対応を行う。</li> </ul>	
4. 実施することで期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用希望者の増加につなげ、各拠点の職員確保を安定的に行える。</li> </ul>	
5. 実施においてかかる見込み費用	<p>求人サイトの内容変更、内容差し替え等費用 300,000 円/年</p> <p>各種ガイダンス参加費用 @10,000 円×5=50,000 円 ※参加費無料のガイダンスを予定。企業主催によるものだと参加料がかかるため計上。</p> <p>・法人概要説明等資料等の郵送費用 定型外郵便 250 円(150g)×100(10 校×10 セット) =25,000 円 総計： <u>375,000 円</u></p>	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4 月	就職専用サイト作成会社との打ち合わせ、 観覧数アップの為の方策の思案を行う。
	5 月	採用実績がある大学、専門学校（東北文化学園大学、専門学校、聖和短 大学、宮城学院大学、東北学院大学）への募集要項の郵送 就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認 オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施 研修生、実習生の採用希望先、職種確認及び、採用アプローチの実施
	6 月	就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認 研修生、実習生の採用希望先、職種確認及び、採用アプローチの実施。 オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施 社会福祉法人による就職ガイダンス（仙台市老協協） 福祉のしごと面談会（人材センター）

7月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、希望職種確認及び、採用アプローチの実施。</p> <p>オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施  マイナビ医療福祉セミナー（マイナビ）  介護・看護の適職フェア（ツクイスタッフ）</p>
8月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、希望職種確認及び、採用アプローチの実施。</p> <p>オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施</p>
9月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、希望職種確認及び、採用アプローチの実施。</p> <p>オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施  採用実績がある高校（仙台大学附属明成高校）への募集要綱の郵送  東北文学園 福祉系合同就職説明会（東北文学園大学）</p>
10月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、希望職種確認及び、採用アプローチの実施。</p> <p>オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施  新規高等学校卒業予定者就職面接会石巻（ハローワーク石巻）</p>
11月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、希望職種確認及び、採用アプローチの実施。</p> <p>オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施  福祉のしごと面談会石巻・仙台（県社協人材センター）  FUKUSHI 就職フェア in みやぎ（就フェアみやぎ）</p>
12月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、職種確認及び、採用アプローチの実施。  オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施</p>
1月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  研修生、実習生の採用希望先、職種確認及び、採用アプローチの実施。  オンライン（ZOOM）を使用した個別説明会の実施  令和2年度の振り返り  専用サイトから採用試験、採用に繋がった人数の把握。  研修生、実習生から採用に繋がった人数の把握</p>
2月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  次年度計画の作成</p>
3月	<p>就職専用サイト回覧数、採用試験希望者数の確認  次年度計画の決定  みやぎ就職ガイダンス（宮城労働局）  医療福祉業界 就職セミナー（マイナビ）</p>

## 人財獲得検討委員会 事業計画②

1. 実施項目名	安定した人財確保に向けた、採用計画の策定と効果的な取組み
2. 実施するうえでの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学校・機関等との連携を強化しより良質な人財を確保する。</li> <li>・法人の魅力を伝える機会へ出向いていく事と合わせて、昨年度から実施している Web 説明会を継続して実施し、法人を知る・理解できる機会を複数設けていき、安定した人財確保につなげていく。</li> <li>・各拠点の人財の充足度（不足度）を定例の委員会会議において調査を行うことで、必要性を鑑みた採用計画立案を行い、無駄の無い採用を行う。</li> </ul>
3. 実施する内容 ・ 取り組み予定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ガイダンス・就職説明会・合同面接会等への参加による法人の魅力と業務内容の説明機会を確保する。</li> <li>・各種学校、団体等への訪問又は Web 媒体を活用した説明機会の確保と求人申し込みを行う。</li> <li>・Web 説明会の継続、新型コロナウイルスの感染状況が収束傾向にある場合には各拠点での見学および説明会を実施する。</li> <li>・令和3年4月の職員配置状況を確認した上で法人新規採用職員採用計画を立案する。</li> <li>・採用計画に基づき、令和3年5月から令和4年2月までの期間、毎月採用試験を実施する。</li> <li>・求人専用サイト及び法人ホームページの活用方法を見直し、より求職者に閲覧してもらえるような内容等を検討し、実践する。</li> <li>・SNS（インスタグラム・LINE等）や動画サイト（YouTube等）等の活用による法人アピールの機会を設けていき、獲得だけでなく定着等にもつなげられるように他委員会とも連携を行い、情報発信を行う。</li> <li>※法人アカウントの取得が必要、導入後のセキュリティー対策・更新頻度・アカウント管理等について対策協議を行う必要あり</li> <li>・他委員会との連携をより深めていき、人財獲得だけでなく定着に着目した確保方法を見出していく。</li> <li>・人材紹介会社やマイナビ等外部求人サイトに頼らない人財確保の方法と法人を知ってもらえる機会の確保方法を検討し、実践する。</li> <li>・内定者に対する定期的な連絡と情報発信に努め、内定式を実施するなど内定辞退防止のための取組みを実践していく。</li> <li>・新規学卒後入職した1～5年目までの若手職員を就職説明会等へ派遣し、その際に法人の魅力を伝える、質問に答える等の機会を通して、若手職員の育成の場としていく。</li> </ul>
4. 実施することで期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初から求人活動を実践することにより、より早期に良質な人財確保につなげることができる。</li> <li>・求職者が求める法人・職場つくりにつながり、長く定着できる職場風土につなげることができる。</li> <li>・集合又は対面式での説明会やガイダンスの機会が少ない現状に対して、Web・SNS等を活用することでより多くの求職者や学生に対して、「法人の魅力を知ってもらえる」機会につなげることができる。</li> <li>・内定者に対して、定期的に連絡を入れる・入職前に職場に触れる機会などを設けることで、入職までの不安の解消につながることができ、内定辞退や早期離職を防ぐことができる。</li> </ul>
5. 実施においてかかる見込み費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内定式実施費用（手土産（QUOカード・お菓子代等） @2000円（概算）／1人あたり×15人＝30,000円</li> <li>・試験要項等郵送代 @140円×60校×4回（3ヵ月毎送付）＝33,600円</li> <li>・有料ガイダンス等参加費 @10,000円×5回＝50,000円</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>総計：113,600円</b></p>

6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4 月	①採用試験過去実績のまとめ・分析 ②各拠点必要人員の確認、採用計画の策定 ③採用試験要項の作成・配布（郵送・メール） ④Web 説明会の実施
	5 月	①採用試験の実施（第 1 回・5 月 15 日） ②求人専用サイト活用方法の見直し検討 ③各種ガイダンス等参加 ④Web 説明会の実施
	6 月	②採用試験の実施（第 2 回・6 月 12 日） ②求人専用サイト見直し案による修正作業と SNS 活用検討 ③Web 説明会の実施 ④法人内他委員会との連携協議 ⑤各種ガイダンス等参加
	7 月	①採用試験の実施（第 3 回・7 月 17 日） ②Web 説明会の実施・SNS 活用方法検討 ③各種ガイダンス等参加 ④各種学校・団体等への訪問・懇談
	8 月	①採用試験の実施（第 4 回・8 月 28 日） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③求人専用サイト配信内容の見直しと修正作業 ④各種ガイダンス等参加
	9 月	①採用試験の実施（第 5 回・9 月 25 日） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③各種ガイダンス等参加 ④法人内他委員会との連携協議
	10 月	①採用試験の実施（第 6 回・10 月 23 日） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③各種ガイダンス等参加 ④採用計画の充足度調査と計画の見直し
	11 月	①採用試験の実施（第 7 回・11 月 20 日） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③各種ガイダンス等参加
	12 月	①採用試験の実施（第 8 回・12 月 18 日） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③各種ガイダンス等参加 ④求人専用サイト配信内容の見直し
	1 月	①採用試験の実施（第 9 回※8 回目までの実績により実施） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③次年度事業計画の策定 ④当該年度事業報告の策定 ⑤内定式の実施
	2 月	①採用試験の実施（第 10 回※年度最終回※9 回目までの実績により実施） ②Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ③事業計画・事業報告内容確認と、実践項目検討
	3 月	①Web 説明会の実施・SNS による情報発信 ②年度振り返りと分析 ③次年度実践内容の再確認

人財育成・定着検討委員会 事業計画①

1. 実施項目名	令和3年度 社会福祉法人東北福祉会法人新任職員オンライン研修	
2. 実施するうえでの目標	社会福祉法人東北福祉会の新任職員に対し、職務遂行に必要な基礎的知識の習得を目的とする。	
3. 実施する内容・取り組み予定事項	<p>1) 日 時：①令和3年4月6日(火) 9:00～18:00 ②令和3年4月8日(木) 9:00～18:00 ※①②のどちらかに参加</p> <p>2) 場 所：各拠点（講義はZOOMを使用し、オンラインで行う）</p> <p>3) 対象者：令和2年度中途採用職員及び令和3年4月1日採用職員</p> <p>4) 研修名：令和3年社会福祉法人東北福祉会法人新任職員オンライン研修</p> <p>5) 講 師：東北福祉会 次長、副施設長、部長、課長</p> <p>6) 研修概要：          (1)「ようこそ東北福祉会へ」          (2)「メンタルヘルスとは？」          (3)「社会人としての礼儀作法と対人援助職としてのコミュニケーションについて」          (4) 演習：「マシュマロチャレンジ」          (5)「チームの一員として働くことの大切さ」          (6)「今後の実践に向けて」～講義・演習～</p>	
4. 実施することで期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任職員に求められる職責を確認し、自身の専門職としての役割について理解を深め、実践に繋げることができる。</li> <li>・チームメンバーとして人間関係を円滑にし、チームの一員として活動できる。</li> <li>・講義や演習を通し、様々な体験、ディスカッションをすることで目標を描くことができる。</li> </ul>	
5. 実施においてかかる見込み費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料印刷代（紙、ホチキス針等）：3,500円</li> <li>・演習材料代（パスタ、マシュマロ等）：1,500円</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計5,000円</p>	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4 月	・新任職員研修 (①4月6日(火) ②4月8日(木))
	5 月	・アンケート調査の集計分析・評価
	12 月	・次年度新任職員研修(案) 実施計画の検討
	1 月	・当年度実績報告(案)の策定 ・次年度実施計画(案)の策定 ・次年度新任職員研修(案) 実施計画の策定
	2 月	・当年度実績報告(案)、次年度実施計画(案)の提出及び施設長会議にて修正・確定 ・次年度新任職員研修の告知
	3 月	・次年度新任職員研修の実施準備・実施再告知

人財育成・定着検討委員会 事業計画②

1. 実施項目名	基本介護技術オンライン講習会	
2. 実施するうえでの目標	<p>介護業等の現状においては、離職も多い実情があり東北福祉会においても同様の状況があるといえる。離職者の退職理由等の一つである、身体的負担（腰痛、体調不良等）も無視はできないものであり、さらに近年の入職者の傾向としては養成校等を経ての入職は必ずしも望めず、一般企業等からの転職も増えていることから、基本介護技術レベルについては継続的な知識・技術の獲得の必要性がある。</p> <p>人財育成場面においては、独自の介助方法や根拠が伴わない介助方法の指導が行われることで、新任職員の介護技術も未熟な状況が続くことで、身体的不調をきたし、業務内容の制限や早期の離職に至っていることも想定される。</p> <p>上記により、①介護職員の介護技術がレベルアップをすることで身体的不調を軽減する。②身体の仕事の仕組みを理解することで、介助時にご利用者へかかる負担の軽減及び現存能力を活かした介助ができる。③指導する際の介助のポイントを理解することで実効性の高い指導ができる。</p> <p>上記3点を目標とし、介護技術等講習会を実施する。</p>	
3. 実施する内容・取り組み予定事項	<p>1) 日 時：①令和3年5月11日（火）13：30～16：30 ②令和3年5月13日（木）13：30～16：30 ※①、②は同内容とし、広く受講できるようにする。</p> <p>2) 場 所：社会福祉法人東北福祉会 各拠点研修室 （※各拠点へのZoomを使用した中継型研修を予定）</p> <p>3) 対象者：法人勤続年数おおむね3年～5年の介護職員</p> <p>4) 研修名：「基本介護技術講習会～自分にもやさしい介護技術（仮）」</p> <p>5) 講 師：法人内介護福祉士実習指導者、人財育成定着検討委員会</p> <p>6) 研修概要：基本介護技術①座学（知識・技術）②体験（演習）</p>	
4. 実施することで期待できる効果	<p>1) 介護技術のレベルアップから身体的不調を軽減し、体調不良等の理由による欠勤、退職等の予防対応を図り、人財定着の一端を担うことができる。</p> <p>2) 身体の仕事の仕組みを理解し、ご利用者の体格や身体状況に合わせた介助方法を検討し、ご利用者へかかる負担の軽減及び現存能力を活かした専門性のあるサービスの提供ができるようになることを期待する。また、不要な怪我及び事故の予防が期待できる。</p> <p>3) 介助のポイント、根拠を理解することで、実効性ある指導ができる。</p>	
5. 実施においてかかる見込み費用	<p>・資料印刷代 4,000円（概算） 内訳：1回の開催で最大32名受講、2回開催で計64名講師、予備含め合計80部（各拠点20部準備）</p>	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4月	<p>・基本介護技術講習会の実施準備、再告知 ※3月より企画・告知開始予定</p>
	5月	<p>●基本介護技術講習会 ①5月11日（火） ②5月13日（木）</p>
6月	<p>・介護技術講習会アンケート調査の集計、分析、評価</p>	

	2月	・次年度、基本介護技術講習会実施計画の検討
	3月	・次年度、基本介護技術講習会実施計画の策定

令和3年度 人財育成・定着検討委員会 事業計画③

1. 実施項目名	職位階層別オンライン研修（リーダー対象）	
2. 実施するうえでの目標	<p>東北福祉会リーダー職として従事する職員を対象に日頃の業務を円滑に実行できるための法人研修を開催する。</p> <p>リーダー職は、着実な業務実行のほか、チーム職員へのコーチング、ティーチング、マネジメント等、多様な役割を担っているが、自らが行う業務内容について様々な迷いが日々生じながら実践をしていることが、令和2年度1月に実施した法人リーダー対象アンケートにて確認されている。</p> <p>アンケートより抽出された総合的に課題と考えられる点をポイントに、今年度は東北福祉会リーダー職を対象とした職位階層別研修を実施する。</p> <p>本研修は、上記に記載した知識・技術等の獲得から、これらを実行することで、自らもチームも育成されること目標とする。</p>	
3. 実施する内容取り組み予定事項	<p>1) 日 時：令和3年7月9日（金）13：30～16：30</p> <p>2) 場 所：オンライン研修</p> <p>3) 対象者：東北福祉会 リーダー職</p> <p>4) 研修名：「令和3年度 職位階層別研修 ～リーダー対象～」</p> <p>5) 講 師：松本 久（せんだんの杜 住居支援部長）</p> <p>6) 研修概要</p> <p>①リーダーシップ、リーダーがすべきこととは</p> <p>②チームマネジメント</p> <p>③職場内教育方法について（OJT等）</p>	
4. 実施することで期待できる効果	<p>1) リーダーとしての役割を理解し、目的をもって業務を実行することができる。</p> <p>2) チームマネジメントの知識・技術を学ぶことで、ご利用者支援等において円滑なチームワーク、多職種等連携を実行することでチームとして成長することができる。</p>	
5. 実施においてかかる見込み費用	・資料印刷代（紙、ホチキス、印刷代等） 5,000円	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4月	・アンケート結果の最終確認。研修内容案の検討。
	5月	・職位階層別研修（係長・リーダー対象）の企画
	6月	・職位階層別研修（係長・リーダー対象）の企画・実施準備・告知
	7月	●職位階層別研修（リーダー対象） 7月9日（金）
1月	・当年度実績報告の策定（当年度計画の実施状況の評価・とりまとめ） ・次年度実施計画（案）の策定（次年度実施計画の検討・策定）	

令和3年度 人財育成・定着検討委員会 事業計画④

1. 実施項目名	令和3年度 新任職員フォローアップ・オンライン研修	
2. 実施するうえでの目標	法人新任職員へ対して、入職後、一定期間経過を経て、実践と学習の機会により得た、知識・理論の習得状況を確認するとともに、本研修を通して、更なる知識・技術の向上の図り、より実効性の高い実践力を身に着けることを目標とする。	
3. 実施する内容・取り組み予定事項	<p>1) 日 時：①令和3年9月7日(火) 9:00～18:00 ②令和3年9月9日(木) 9:00～18:00 ※①及び②は、同内容での開催とし、対象者は、 ①または②への参加とする。</p> <p>2) 場 所：社会福祉法人東北福祉会 各拠点研修室 (※各拠点へのZoomを使用したオンライン研修を予定)</p> <p>3) 対象者：令和3年度新任職員研修受講者</p> <p>4) 研修名：「令和3年度 社会福祉法人 東北福祉会 新任職員フォローアップオンライン研修」</p> <p>5) 講 師：人財育成・定着検討委員会</p> <p>6) 研修概要：新任職員研修での内容とリンクした形で座学だけでなく、体験型の講座も組み合わせながら実施する。</p>	
4. 実施することで期待できる効果	<p>1) 講座の内容を座学と体験型を組み合わせたかたちで行うことで楽しみながら個性の表現、協調性、達成感を得られる効果が期待できる。</p> <p>2) 受講者間でのコミュニケーション場面から、日頃の葛藤や悩みなどを共有することで共感的理解とモチベーションの維持・向上につなげることができる。</p> <p>3) 日頃の自らの行う業務と場面の振り返りをし、再点検することで必要に応じた軌道修正を行うことができる。</p> <p>4) 体験的理解場面から、自身が行っている業務の意味を再確認でき、研修受講後は、より高い実践力を身に着けて業務を行うことができる。</p> <p>5) 研修の様子について動画制作し、法人の取組みを広く発信することでブランディング効果、人財獲得の一端を担う機会となること。</p>	
5. 実施においてかかる見込み費用	・ 5,000円(体験型講座での道具等の材料費)	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	6月	○新任職員フォローアップ研修内容の検討開始 ・プログラムの詳細検討(内容、構成、時間割、科目等) ・振り返りシート、アンケート内容の検討等
	7月	○新任職員フォローアップ研修内容の大枠(案)決定 ・検討内容の修正及び調整、出席調整アナウンス
	8月	○新任職員フォローアップ研修内容最終確認 ・講師資料の事前準備 ・資料準備等役割分担、会場準備、各拠点担当者の動き等の確認
	9月	●新任職員フォローアップ研修 【①9月7日(火)】【②9月9日(木)】 ・研修の様子撮影(写真、動画) ・振り返りシート、アンケートの集計、分析

	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りシート、アンケート結果の確認</li> <li>○研修の動画制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ブログ更新、「YouTube」への動画アップ</li> </ul> </li> </ul>
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度、新任職員フォローアップ研修実施計画の検討</li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度、新任職員フォローアップ研修実施計画の策定</li> </ul>

人財育成・定着検討委員会 事業計画⑤

1. 実施項目名	令和3年度 社会福祉法人東北福祉会 公開講座	
2. 実施するうえでの目標	東北福祉会として地域住民、介護や医療の専門職者が一緒に学びを深める機会設け、社会福祉への理解と共生の促進を図ること。また、法人としての公益的活動を通じた、社会貢献、地域住民や関係機関との連携力強化、協力体制の構築を目標とする。	
3. 実施する内容・取り組み予定事項	1) 日 時：令和3年11月13日（土）13：00～16：00 2) 場 所：オンライン講座を予定 3) 対象者：地域住民、介護・医療関係者等 4) 研修名：「令和3年度 社会福祉法人東北福祉会 公開講座」 5) 講 師：調整中 6) 研修概要：検討中	
4. 実施することで期待できる効果	1) 介護、医療の専門職者の知識習得及び実践力の向上が期待できる。 2) 地域住民の方々との交流を通じた、相互支援の体制整備を図ること。 3) 受講者が共通の福祉観を持ちながら、地域福祉の活性化と福祉活動への参画を促進することができる。 4) 講座の開催を通して、法人の取組みを発信しながら、新たな人財の獲得や法人職員としての自信やブランディング効果が期待できる。	
5. 実施においてかかる見込み費用	・50,000円（講師料/機材費等）	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4月	○公開講座の企画（テーマ、内容）
	6月	○公開講座の企画（構成確認、チラシ作成・配布先）
	7月	○公開講座の企画、広報
	8月	○公開講座の企画・広報
	9月	○公開講座の実施準備・広報
	10月	○公開講座の実施準備・広報

	11月	●公開講座－法人職員、他施設職員、住民、学生等－ 【令和3年11月13日（土）】
	12月	○公開講座アンケート調査の集計分析・評価
	2月	・次年度、新任職員フォローアップ研修実施計画の検討
	3月	・次年度、新任職員フォローアップ研修実施計画の策定

## 人財評価検討委員会 事業計画

1. 実施項目名	・キャリアパスの見直しについて	
2. 実施するうえでの目標	・キャリアパスの見直しを行い、キャリアアップの道筋の明確化を図る。	
3. 実施する内容 ・取り組み予定事項	・キャリアパス解説書の職位、職責、職務、研修及び自己啓発を修正し、任用の参考要件を整理する。	
4. 実施することで期待できる効果	・キャリアアップの道筋が見え、習得が必要な知識や技術を自ら把握することができる。 ・キャリアパス見直しの取り組みを通して評価者、被評価者のスキルアップを図っていく。	
5. 実施においてかかる見込み費用	特になし	
6 年間スケジュール		
実施スケジュール	時 期	実施内容
	4 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	5 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	6 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	7 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	8 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	9 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	10 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	11 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
	12 月	検討委員会 キャリアパスの見直し
2 月	検討委員会 キャリアパスの見直し	

令和3年度当初予算における「法人全体にかかる」設備整備工事等について

1. 法人共有サーバの更新入れ替え	
必要性	リース満了に伴う更新入れ替えが必要なため
購入内容	サーバ、サーバ付属機器類一式、関連ソフトウェア
発注予定先	リコージャパン株式会社
予定価額	6,830,150円（消費税別）
支払方法	5年リース（60回払い）
支払資金	経常経費

2. 法人共有サーバ更新入れ替え保守	
必要性	サーバの安全性を確保するため
購入内容	ハードウェア保守等
発注予定先	リコージャパン株式会社
予定価額	3,328,900円（消費税別）
支払方法	5年リース（60回払い）
支払資金	経常費用

## 2. せんだんの杜の取り組み

目 標	<p>1) 利用者一人ひとりの生活支援に取り組み、子どもから高齢者までそれぞれ固有のかけがえのない“暮らしの継続”を実現する。</p> <p>2) 理念に向かい職員が一丸となり実践に励むこと、働きがいややりがいを持ち、職員個々人が大切にされていることを実感できる職場作りに継続的に取り組む。顕在化している課題、潜在している課題を発見し、課題解決に取り組むことで、さらに魅力を感じることでできる職場環境を構築する。</p> <p>3) 令和3年度各種制度改正に対応した整備を図ることとあわせ、既存のサービスと福祉課題の検証し、各種福祉サービスを必要とする方々及び地域住民等に必要とされる取り組みを進める。</p> <p>4) 社会福祉法人としての事業運営を吟味すると共に、経営的課題について細かく分析し、課題改善に向け、さらに計画的・具体的に実行する。</p> <p>5) 行学一如の建学精神に基づき、東北福祉大学の実学実習生並びに専門職養成課程における実習生を中心とした育成に全力を尽くすと共に大学との更なる効果的な連携の強化を図る。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>① 子どもや高齢者などの各領域において、人として心と暮らす環境作りと利用者一人ひとりの生活支援の充実を図る為、さらなるチームマネジメントの再構築を行う。</p> <p>② 職員の声、考えを大切に、職位を問わず職員みんなで理念達成に向けて、その意見や提案を具体化する取り組みを行うことで、自発的实践に繋がる職員育成及び職場風土作りに取り組む。</p> <p>③ 各種制度改正、報酬改定に係る整備から、安定的なサービスの実行と質の向上について並行して取り組み、経営状況の推移を的確に把握しながら、早期かつ柔軟に必要な対応を検討・導入する。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>① コロナ禍においても、社会的ニーズや非市場化的なニーズを見極め、地域住民や様々な社会資源と共にその課題の共有を継続し、我々に求められる社会的要請に応えるべく、地域公益事業並びに地域における公益的な取り組みの能動的・開拓的な事業展開を行う。</p> <p>② 次世代に向けた効果的な福祉教育及び福祉・介護人材の発掘をするための実習やボランティアなどのコロナ禍の中での新たな方法確立し、効果的な受け入れ、並びにニーズにマッチした求人活動等を通し、「参入促進」「人材確保」「次世代育成」などの人的資源に関する課題解決を具体的に進める。</p> <p>④ 包括支援センターが実施する介護予防教室等の取り組みについて、オンライン等の活用により、業務の効率化のみならず、地域や関係機関等とのさらなる連携の強化、新たな可能性を模索する。</p>			
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>				
「令和3年度当初予算における「せんだん杜」設備整備工事等について」に別記				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和3年1月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	令和3年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	36	95.0	90.4
2	同上（ユニット型）	18	92.0	87.5
3	ケアハウスフェリコ館	30	100.0	99.8
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	95.4	95.4
5	せんだんの杜訪問介護事業所（障がい）	—	2,400（時間）	2,329（時間）
6	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	890（件）	881（件）
7	国見ヶ丘地域包括支援センター（予防）	—	33,300（件）	33,276（件）
8	杜の子ハウス（放課後等デイサービス）	10	86.0	85.0
9	遊杜家（放課後等デイサービス）	10	88.0	95.0
10	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	87.0	86.0
11	杜の工房（就労支援B型）	20	80.0	40.0
12	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	105（名）	105（名）
13	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	30（名）	30（名）
14	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	300（件）	123（件）
15	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	98.0	97.0
備 考	せんだんの家 暫定定員（現9名、新年度9名予定） せんだんの杜中山通所介護事業所（一般型） 令和2年11月30日廃止			

令和3年度当初予算における「せんだん杜」設備整備工事等について

1. (老朽設備) 国見ヶ丘せんだんの杜保育園 屋根防水工事	
必要性	年数経過により保育園本園屋根の老朽化における防水シートの劣化、破損があるため
購入内容	①屋根劣化部剥離作業 ②防水工事
発注予定先	福祉工房(株)
予定価額	金3,000,000円(税込)
支払方法	1回払
支払資金	積立資産

2. (環境整備) 国見ヶ丘せんだんの杜保育園 エアコン設置工事	
必要性	夏の時期の気温の上昇により、室内の気温が高くなるため、室内の快適な環境を確保する必要があるため
購入内容	①エアコン設備 ②エアコン設置工事
発注予定先	アトマックス(株)
予定価額	金2,500,000円(税込)
支払方法	1回払
支払資金	積立資産

3. (老朽整備) 国見ヶ丘せんだんの杜保育園室外木製テラス改修工事	
必要性	年数経過により室外木製テラスの老朽化における破損、劣化が進んでいるため、改修する必要があるため
購入内容	①木製テラス改修工事
発注予定先	(株) ジャクエツ
予定価額	金4,500,000円(税込)
支払方法	1回払
支払資金	積立資産

### 3. せんだんの杜ものうの取り組み

<b>目 標</b>	<p>1) 選ばれる事業所であり続けるために、サービスの質向上に向けた学びと実践に取り組むことにより、利用の継続と新規利用者の獲得による安定した経営に結び付けていく。</p> <p>2) 感染症対策の更なる徹底を図り、地域住民の方からの信頼と利用者および利用者家族が安心して利用できる環境づくりに努める。</p> <p>3) 地域住民との協力体制をより強固なものにしていくために、積極的なアウトリーチの機会確保と、個々のエンパワメントを引き出すための働きかけを強化する。</p> <p>4) 「知識・技術・態度」を理論だけでなく、体得できるための教育体制および内容の充実化を図り、より顧客満足度を高めることができる人財育成に努める。</p>			
<b>重 点 項 目 と 主 な 内 容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>①介護報酬改定の内容に関する的確な情報収集に努め、新規加算取得のための組織体制の見直しを適宜行い、収入増加につなげていく。</p> <p>②安定した事業運営および事業経営を継続していくために、新規利用者の獲得、適切な人員配置、経常経費の見直し等を組織全体で取り組みを行っていく。</p> <p>③新型コロナウイルス等感染症対策に関する情報収集および実践に即した学びの機会を設け、利用者・入居者だけでなく、職員の命を守る対策の徹底を行っていく。</p> <p>④利用者・入居者および介護家族から選ばれる事業所でありつづけるため、また、多様なニーズに応えるための必要な人財確保および定着に向けた教育機会を設けていく。</p> <p>⑤水害・地震・原子力災害等想定される災害に対する対応力を向上させるために、定期的な学びの機会の確保と、実践に即したマニュアルの改定を行い、防災・減災のための取り組みを強化する。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>①地域の課題に対して、積極的に地域へ出向き、住民の方々との対話の機会を増やし、地域の一員として課題解決に向けた取り組みを地域住民と一緒に実践していく。</p> <p>②昨年度、新型コロナウイルスの影響により、地域との学びの場を作ることできなかったため、今年度改めて事業所にある知識・技術を地域に還元できる機会を設け、地域住民を対象とした福祉・介護に関する勉強会の機会や実習やボランティア・職場体験等の受け入れを行う。</p> <p>③東日本大震災から10年が経過する中で、災害に対する意識が薄まらないよう、地域における防災・減災への取り組みに対して、積極的に関与する機会を設けていく。また、関係機関・団体と連携を図りながら被災者支援の継続と地域包括ケアの実践に取り組んでいく。</p>			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
別紙「令和3年度当初予算における「せんだんの杜ものう」設備整備工事等について」参照				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和3年1月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	令和3年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	97.0	96.0
2	地域福祉センター通所介護事業所(月～金)	25	80.0	75.1
3	ものう短期入所生活介護事業所	15	85.0	82.0
4	ものう訪問介護事業所	—	500.0(時間)	435.0(時間)
5	ケアハウスフェリカ	15	95.0	91.1
6	なかつやま第一通所介護事業所(月～日)	10	80.0	76.6
7	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	98.0	100.0
8	うした通所介護事業所(月～日)	10	75.0	66.2
9	うした認知症対応型共同生活介護事業所	9	98.0	94.7
10	ものう居宅介護支援事業所	—	105.0(件)	100.8(件)
11	石巻市ものう地域包括支援センター	—	105.0(件)	97.8(件)
12	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	15.0(件)	9.2(人)
13	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	50.0(人)	38.0(人)
<b>備 考</b>				

令和3年度当初予算における「せんだんの杜ものう」設備整備工事等について

1. (車両更新) リース期間満了に伴う公用車両の更新	
必要性	地域包括支援センター公用車のリース期間満了 (R3.6月) に伴う更新 (入替)
購入内容	軽自動車 / 1台
発注予定先	見積合わせを実施し、最低価格を提示したリース会社に発注
予定価額	(1台あたりリース料) 月額15,000円 (概算額) (総リース料 / 5年間) 900,000円 (概算額)
支払方法	5年 (60か月) リース
支払資金	経常資金を充当

2. (車両更新) リース期間満了に伴う公用車両の更新	
必要性	ヘルパー公用車のリース期間満了 (R3.9月) に伴う更新 (入替)
購入内容	軽自動車 / 2台
発注予定先	見積合わせを実施し、最低価格を提示したリース会社に発注
予定価額	(1台あたりリース料) 月額15,000円 (概算額) (総リース料 / 5年間 / 2台) 1,800,000円 (概算額)
支払方法	5年 (60か月) リース
支払資金	経常資金を充当

3. (車両更新) 経年劣化に伴う公用車両の更新	
必要性	公用車の経年劣化に伴う更新 (リース契約での入替)
購入内容	軽自動車 / 1台
発注予定先	見積合わせを実施し、最低価格を提示したリース会社に発注
予定価額	(1台あたりリース料) 月額15,000円 (概算額) (総リース料 / 5年間) 900,000円 (概算額)
支払方法	5年 (60か月) リース
支払資金	経常資金を充当

#### 4. せんだんの里の取り組み

目 標	<p>1. 介護保険制度・報酬改定に伴い人員体制とサービス内容の見直しを行って、さらに新規加算取得により収益増を目指す。</p> <p>2. 事務費支出の圧縮、その他経費の節減により収益増を図る。</p> <p>3. 定期的な安全推進活動を実施し働きやすい環境、安心して過ごせる生活環境の整備を行う。</p> <p>4. 地域連携推進活動を促進し、社会貢献と広報・集客効果の発揮を目指す。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. T F Uグループ施設連携および人材育成等による選択的サービスの開発による新規加算の算定、営業活動の強化を主軸とする。</p> <p>2. 施設設備の経年変化対応に伴う保守料および修繕費等の資金を確保するとともに、その他事務費等の経常的支出を節減する。</p> <p>3-1. ストレスチェック制度による集団分析や労働安全衛生のための職場環境改善と同時に、利用者・家族のサービス満足度調査結果等を反映した生活環境整備を行う。</p> <p>    -2. 介護における I C T (情報通信技術) 機器の共同開発やその他機器利用による情報共有・連携と情報活用を一層進め、介護等業務の効率化とサービス成果の見える化を図る。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>4-1. 地域交流事業とボランティア育成事業等による介護サポーターの確保を目指す。</p> <p>    -2. 「せんだい認知症サポーター倶楽部」「認知症サポーターズカフェ」の活動と、「まちの音楽カフェ (認知症カフェ)」を基軸として地域連携の一層の推進、オンライン等を活用したイベントの地域広報、ホームページや各種ソーシャルメディア等からの情報発信により、身近な施設づくりと地域交流を図る。</p>			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較 (※前年度実績は、令和3年1月末時点での利用率)</b>				
No	事業所名	定員 (人)	令和3年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	160	97.5	96.8
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス空床利用型を含む)	34	82.4	73.5
3	せんだんの里デイサービス	30	76.7	65.3
4	せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス	10	80.0	68.8
5	せんだんの里グループホーム	27	98.1	94.1
6	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	97.8	92.9
7	せんだんの里居宅介護支援事業所 (介護予防支援受託分を含む)	-	96.0 (件)	94.8 (件)
備考				

## 5. せんだんの館の取り組み

目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第8期介護保険事業計画や制度改正のポイントを踏まえ さらに利用者支援並びに利用率の向上に努める。</li> <li>2. 新型コロナ感染拡大予防の徹底に努める。</li> <li>3. 施設設備等の維持管理に努め 経年劣化に伴い必要となる設備等の更新、修繕を計画的に実施する。</li> <li>4. 「働き方改革」の推進や「働きやすい職場」づくりに取り組み 介護人材の確保を図れるよう努める。</li> <li>5. 地域の関係機関との連携を促進し 事業所が有する資源を社会貢献活動として活用し協働活動を展開する。</li> </ol>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第8期介護保険事業計画及び制度改正により提供するサービスやその質を向上させ コロナ禍における各種加算の見直しを行うとともに職種間及び関係機関との連携強化を図り利用者の支援をさらに充実させ、利用率の向上を図る。</li> <li>2. コロナ禍における事業所内外の関係者間(ご利用者、ご家族、職員)の『つながり』の希薄化を防ぐよう更なる理解を得て取り組むとともに 法人内におけるBCPの策定、新型コロナウイルス対応マニュアルの見直しを行い、併せて対応訓練を実施することで対応強化に努める。</li> <li>3. 各種設備の更新時期が重なるため 施設及び設備等の維持管理を計画的に進める。</li> <li>4. 令和2年度の導入した介護システムの合理的な運用を進めて人材確保に努め 職員の負担軽減や利用者の生活の豊かさを高める。</li> </ol> <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 新型コロナウイルス感染拡大のより実施が止まっている諸活動には 感染予防を図り利用者、職員の安全安心の上で オンラインの活用や3密を避けるなど創意工夫し実施する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① オンラインを使用した認知症カフェ「オレンジ すまいる」を実施する。</li> <li>② 地域連携による「食料支援」や「子ども食堂」等の開催を検討する。</li> <li>③ 出張講座(運動/口腔ケア/言語リハビリ等)</li> <li>④ おたっしやだよりの発行(年3回)やブログ等を活用し、情報発信を行う。</li> </ol> </li> </ol>			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
別紙参照				
事業別稼働目標と前年度実績の比較(※前年度実績は、令和3年1月末時点での利用率)				
No	事業所名	定員 (人)	令和3年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.4	98.3
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.0	88.4
3	せんだんの館デイサービス	40	80.0	72.2
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	-	60(件)	60(件)
備 考				

## 令和3年度当初予算における「せんだんの館」設備整備工事等について

1. 利用者居住環境整備	
必要性	開設時、中古品で対応してきたベッド等寝具のうち 経年劣化により部品や動力に不具合があり使用が難しいベッド及びベッドマットを計画的に更新するもの
購入内容	① 介護用ベッド ②ベッドマット ③サイドレール
発注予定先	(株)JCI
予定価額	金 3,528,800 円(送料 設置費込)
支払方法	1 回払い
支払資金	経常経費

2. 歯科用ユニットおよび滅菌装置の更新	
必要性	開設時にフィンランド製の歯科用ユニットの中古品を設置し使用してきたが旧型の機器のため効率が落ち 経年劣化による修繕が多く更新するもの
購入内容	① 歯科用ユニット ②全自動高圧蒸気滅菌機
発注予定先	(株)松本歯科商会
予定価額	① 歯科用ユニット 4,510,000 円(税込み) ② ②全自動高圧蒸気滅菌機 418,000 円(税込み)
支払方法	60 回リース払い
支払資金	経常経費

3. 厨房機器の更新	
必要性	毎日の調理に欠かせない機器並びに冷蔵庫の経年劣化に伴い更新するもの
購入内容	① スチームコンベクション ②冷蔵庫
発注予定先	(株)フジマック
予定価額	① スチームコンベクション 1,991,000 円 ②冷蔵庫 60,500 円
支払方法	60 回リース払い
支払資金	経常経費

## 6. 認知症介護研究・研修仙台センターの取り組み

<b>目 標</b>	東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。			
<b>重点項目と主な内容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. 研究事業            研究事業補助金等による研究事業            (1) 研究調査            老人保健健康増進等事業／科学研究費助成事業／運営事業費における研究事業            (2) 研究の取り組み            研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果報告会の開催／3センター合同研究成果報告会の開催            (3) 研究成果の広報            DCnet 等による各研究の成果公表</p> <p>2. 研修事業            都道府県等の研修委託費等による研修事業            (1) 認知症介護指導者養成研修の実施            第1回：8月30日～10月29日            第2回：11月29日～2月4日            (2) フォローアップ研修の実施            第1回：8月2日～8月5日、8月10日（オンライン）            第2回：2月14日～2月18日（集合）</p> <p>3. 運営事業            運営事業補助金による事業            (1) センター運営協議会・外部評価委員会の開催            (2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会の開催            (3) 認知症介護セミナーの開催            (4) 認知症介護教育・研修の活動支援            (5) 地域住民を対象とした健康講座の開催            (6) 認知症介護指導者オンライン情報交換会の開催</p> <p>4. その他事業            (1) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業            (2) センター企画研修事業（認知症カフェモデレーター研修、高齢者虐待防止教育研修）            (3) 仙台市認知症カフェ支援事業、仙台市認知症ピアサポート活動支援業務、宮城県認知症カフェ普及促進研修事業</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>1. 土曜の音楽カフェ♪（認知症カフェ）の企画・運営（毎月第1土曜日）            2. おれんじドア運営の支援</p>			
<b>主な修繕・改修等工事、備品等購入の予定</b>				
予定なし				
<b>研修別目標と前年度実績の比較</b>				
No	研 修 名	定員 (人)	令和3年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	20	0（中止）
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	20	0（中止）
2	第1回フォローアップ研修	20	20	12
	第2回フォローアップ研修	20	20	11（見込）

7. 組織体制  
別紙のとおり

8. 人員体制  
別紙のとおり